

# 早期臨床体験実習

科目責任者 千 田 雅 之  
学年・学期 1 学年・2 学期

## I. 前 文

本科目は、医学生としての自覚をもち、医師への動機をつけることを目的とした臨床医学実習のひとつである。

1学年次から医師の業務を見学することで、チーム医療とは何か、医師はどうあるべきかを常に自分自身に問いかけ、医師となるためのモチベーションを高く維持してほしい。

## II. 担当教員

臨床医学教員（詳細は改めて連絡する）

## III. 一般学習目標

医療現場を体験することにより、医学生としての自覚を深め、医学を学ぶことへの関心を高める。

また、優れた医師になるため、医学生として備えておくべき基本的態度・姿勢を修得する。

## IV. 学修の到達目標

1. 医師の日常業務を理解する。
2. 医学を学ぶことへの動機づけを行う。
3. 多職種が連携して成り立つ病院の機能を知る。
4. 医学部は社会に開かれた学部であることを自覚する。

## V. 授業計画及び方法 \* ( ) 内はアクティブラーニングの番号と種類

(1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。))

2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション

6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブラーニング
1~7	9	16	水	1~7	オリエンテーション・大学病院診療科配属実習	各科担当教員	4
8~14		17	木	1~7	大学病院診療科配属実習	各科担当教員	4

## VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

実習時の態度等、総合的に判断する。

(実習態度 (60%), レポート (40%))

## VII. 教科書・参考図書・AV資料

オリエンテーション前に資料 (実施概要) を配布する。

## VIII. 質問への対応方法

実施内容については「実施概要」を配布時に随時受けつける (教務課) 実習時の質問については各担当教員に実習中に質問すること。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
<b>医師としてのプロフェッショナリズム</b> 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	◎
<b>能動的学修能力</b> 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	◎
<b>地域医療の理解</b> 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	○
<b>国際性</b> 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	
<b>リサーチマインド</b> 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

実習の場で講評・解説します。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

事前学習：配属になった診療科について調べておくこと（20分）

事後学習：体験内容をレポート作成すること（30分）

XII. コアカリ記号・番号

CM-01：患者に接する言葉遣い・態度・身だしなみ・配慮

CM-01-01：患者・家族への適切なコミュニケーションスキルの活用

CM-01-02：患者の立場の尊重と苦痛への配慮